

発言者	内容
司会（会長）	社会科（地図）の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	サイズが小さい。地図という観点では大きいほうがよいと思う。
委員	SDGsについて記載がある。全体的に薄い色合いで見やすい。様々なページに関連する資料があるが、生徒がページを行き来しなければならず、使いづらい。
委員	歴史や地理の教科書と関係づけられた資料が多い。地図帳の大きさが教科書と同じ大きさになっているのは良いが、コンパクトになった分、ページ数が増えて重くなり、字が小さくなっている。
委員	イラストが豊富に掲載されているところが良いが、その反面、見づらい部分があった。
司会（会長）	帝国書院についていかがか。
委員	近畿地方の産業について記載したページで、高砂市にタービンと記されている。また、重工業がさかんであることが表記されている。高砂市民としてはうれしい。
委員	大きくて見やすい。「地図活用」が各所に設けられていたり、「学習課題」が明示されていたりして、生徒にとって着目点が分かりやすく、主体的な学びができる。
委員	地図が、「特産品が大きく表示され見やすい」という点と、「防災のページを設定している」という点が評価できる。
委員	京都の街並みの地図などが詳しく載っている。資料集的要素の高い地図帳であるため、様々な図法の地図が少ない。
司会（会長）	総括をする。  本委員会では、帝国書院を第一に推薦する。